

教誨師（きょうかいし）（2018）

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 114分

初公開日 2018/10/06

公開情報 マーメイドフィルム=コピアポア・フィルム

映倫 G

【キャッチコピー】

死刑囚6人との対話が始まる。

【解説】

2018年2月に急逝した名優・大杉漣が自ら初プロデュースも務めて主演したヒューマン・ドラマ。受刑者を教えさす宗教者“教誨師”という存在にスポットを当て、教誨師を務める牧師を主人公に、彼と6人の死刑囚との対話を通して、様々な反応を見せる死刑囚それぞれの心のありようと、主人公自身の葛藤を静かに見つめていく。6人の死刑囚役には光石研、烏丸せつこ、古舘寛治、玉置玲央、五頭岳夫、小川登。死刑に立ち会う刑務官を描いた大杉漣出演作「休暇」の脚本を手掛けた佐向大が監督・脚本を務める。

プロテスタントの牧師・佐伯保は、教誨師として月に2回拘置所を訪れていた。面会の相手は無言を貫く鈴木や、気のよいヤクザの組長・吉田、大量殺人者の若者・高宮をはじめ一癖も二癖もある死刑囚たち。彼らが自らの罪としっかり向き合い、悔い改めることで、心安らかに死を迎えられるよう対話を重ねる佐伯。しかしそれは決して容易なことではなく、またそうすることが本当に正しいことなのか、自らも迷い、葛藤し続ける佐伯だったが…。

【クレジット】

監督	佐向大	
エグゼクティブプロデューサー	大杉漣	
	狩野洋平	
	押田興将	
プロデューサー	松田広子	
脚本	佐向大	
撮影	山田達也	
美術	安藤真人	
衣裳	宮本茉莉	
編集	脇本一美	
照明	玉川直人	
録音	山本タカアキ	
整音	山本タカアキ	
ヘアメイク	有路涼子	
助監督	玉澤恭平	
出演	大杉漣	佐伯保
	玉置玲央	高宮真司
	烏丸せつこ	野口今日子

五頭岳夫	進藤正一
小川登	小川一
古館寛治	鈴木貴裕
光石研	吉田睦夫